



第4回元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

ありのままの子どもを感じよう
～向き合う、寄り添う、受け止める～

最後の実行委員会!

第8回実行委員会議事録

H26年11月20日(木)

14:00~17:00

愛知県児童総合センター

(長久手市モリコロパーク内)

出席者: 岡部節美、鈴木節子、竹内逸子、鈴木美紀、
盛本みすい、秦結香、野田しのぶ、渡辺宏明、野々垣実里
牛田富江、安藤智人、十良裕樹
事務局: 上野裕、阪野大介、宮崎恵梨、高阪麻子

プログラム

- 14:00 開会・あいさつ
- 14:10 アイスブレイク
- 14:20 進捗状況報告
- 14:30 実施しての感想
次回に向けての
意見交換
- 16:55 まとめ

各委員の感想



講演会部会
稲沢市 鈴木節子
講師とのやりとり
でいろいろドキド
キしたが、なんと
かできてほっとし
た。
経験ってとても大
切だと思ったので、
ぜひ、こういう体
験を若い人にもさ
せてあげたい。
来年は若いス
タッフの背中を
押してあげよう
かな。



講演会部会 岩倉市 岡部節美

実行委員は、楽しく、勉強になり、達成感があつた。
最後に報告書作成の際に講演のテーブル起こしを
して何回も何回も聞いた。今では講演ができるくらい
！！わかりやすくて、心に響くいい講演だったなと
改めて思った。



第1分科会 長久手市 竹内逸子

次から次へと知らないことばかりで、言葉をいっぱい調べてや
っとなつていったという感じだった。もっと勉強したいと思った。
次にやる人にも「勉強になるからやってみるといい」と言ってあ
げたい！！

第1分科会 清須市 鈴木美紀

初めはどうなる事かと思ったが、ペアの竹内さんに
助けられて頑張れた。最後は泣けてきた。
大変だった分、自分のためになったように思う。みな
さんありがとう。



第2分科会
半田市 盛本みすい

やってみたいと思ってい
て、やり抜くことができた
のでよかった。
分科会の会場が一つに
なってる気がして嬉し
かった。
無理なくできる環境、所
属の市町村や館の体制
づくりが重要だと思った。

第2分科会
弥富市 秦結香

全国大会に参加をして興味
があつた。委員を経験した
人から「勉強になるよ」と言
われて大会を作る側をやっ
てみたかった。
分科会は先生もステキで大
成功だった。
たくさんの人たちが子ども
や親のことを考えているん
だと感動した。



第4分科会 名古屋市 渡辺宏明

県内の人と話をしたり、意見交換できる機会があまりないので、ここで色々な市町の方と話せて、自分を振りかえることができた。

分科会ではWSに慣れていない人が多かったの、時間がかかった。時間の管理をしっかりするべきだった。



第4分科会
清須市
野々垣実里

大会のことを知らないまま参加をしてしまい難そうだなと思った。でもやっていくうちに楽しくなってきた。ペアの渡辺さんに助けられ、一生懸命やれた。また新しい世界を見て、勉強になった。



第3分科会
一宮市 野田しのぶ

大会初めての参加で何をしたいのかわからないことが多かった。邨瀬さんにおんぶに抱っこだった。所属でメールができない環境だったので、情報共有が遅れた。そういうシステムも整えていけるといい。

第3分科会
弥富市 邨瀬知香子

児童館は違っても、子ども達への思いは一緒でありたいなあ、と思った委員会でした。テーマが難しく、思いや、伝えたいことが言葉や文章にできないことが大変でした。でも、終わってみたら、私の大切な財産！ありがとうございました。

広報部会 北名古屋市 十良祐樹

情報交換会の内容や、時間など最後の最後まで迷ってしまった。バランスが難しいなあと感じた。この体験を自分の所属に戻ってからも生かせると思う。



広報部会 豊橋市 安藤智人

広報として「発信」することが、もっとできたはず。委員をやってみていい経験になった。今後このスイッチが長く続き、もっと広げていくために研修として位置づけたり、業務として参加できるとよい。



牛田さん

広報部会 津島市 牛田富江

プレ大会全国大会と委員をやって、昨年やらなかっただけで、情報が途切れてしまった気がして、またやりたくなった。

所属の仲間にも「楽しさ」を伝えられる。

* 広報牛田さんの写真が見つからず、小さな牛田さんになってしまいました。

そういえば、大会当日、ずっとニコニコしながらみんなの記録を撮ってくれてました。ゆえに牛田さんが写っていない！！任務を全うしてくださった証ですね。ありがとう！牛田さん。



実行委員紹介



最後に参加者全員で
元気スイッチon!!



次回に向けて

実行委員を経験して、「とても勉強になった、いい経験だった」というのが、みなさんの感想でした。

それは、実施に向けての企画や作業、どれをとっても大変さをとまなう勉強だったと思います。本当にお疲れ様でした。こんなに力を入れて作り上げた大会だからこそ、多くの人に参加してもらいたいという意見が委員会の中でも出ました。

少しでも多くの児童厚生員さんに参加してもらえるよう、次回開催の日程や形式などについて話し合いました。また、たくさんの方が委員を経験できるように、実行委員会の実施についても意見交換をしました。参加しやすい曜日や時間は、それぞれの館のスケジュールが違うため、いろいろな意見が出ましたが、以下のようにになりました。

大会実施の日数について
・1日のみがよい… 1名
・2日間がよい… 15名

大会実施の日程について
・平日がよい… 8名
・休日がよい… 6名

実行委員会の日程について
・午前がよい… 3名
・午後がよい… 14名

実行委員会について
・曜日固定がよい… 17名
・バラバラがよい… 0名

事務局より

この後、報告書の作成が残っています。またメーリングリストなどでのやり取りをしていきたいと思いますが今回は実行委員が13人という少ない人数の中、基調講演と分科会と情報交換会としっかり企画運営することができました。本当にお疲れ様でした！やってみたら楽しかった！ぜひその魅力や楽しさを所属の仲間たちに伝えていただけると嬉しいです。愛知の児童厚生員による児童厚生員のための大会です。続けていくことに意義があると思っていますので、たくさんの人に委員として、参加者としてまた来年お会いしたいと思います。